

# 第1学年 数学科 年間単元指導計画

時期	単元・題材名	配当指導時数	本単元で育成すべき資質・能力 (単元の学習内容)	単元の評価規準	評価方法	教材名	主な言語活動	各教科横断的な資質・能力の育成 に関わる他教科との関連
4、5月	正の数と負の数	28	①正の数と負の数の必要性と意味を理解すること。正の数と負の数の四則計算をすること。具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。	①正の数と負の数の必要性と意味を理解している。正の数と負の数の四則計算をすることができる。具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることができる。	定期考査 小テスト 単元レポート		説明	社会の「時差」とのつながり
			②算数で学習した数の四則計算を関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現すること。	②算数で学習した数の四則計算を関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。	定期考査 小テスト 単元レポート			
				③正の数と負の数のよさに気付いて粘り強く考え、正の数と負の数について学んだことを生かそうとしたり、正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			
5、6月	文字を用いた式	18	①文字を用いることの必要性と意味を理解すること。文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。	①文字を用いることの必要性と意味を理解している。文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知っている。簡単な一次式の加法と減法の計算をすることができる。数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことを理解している。数量の関係や法則などを式に用いて表したり読み取ったりすることができる。	定期考査 小テスト 単元レポート		説明	文字を使った式 文字式の計算 文字式の利用
			②具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現すること。	②具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。	定期考査 小テスト 単元レポート			
				③文字を用いることのよさに気付いて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			
6、7月	一元一次方程式	14	①方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。簡単な一元一次方程式を解くこと。	①方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。簡単な一元一次方程式を解くことができる。	定期考査 小テスト 単元レポート		説明	方程式とその解き方 一次方程式の利用
			②等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。一元一次方程式を具体的な場面で活用すること。	②等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。一元一次方程式を具体的な場面で活用することができる。	定期考査 小テスト 単元レポート			
				③一元一次方程式のよさに気付いて粘り強く考え、一元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			

8、9 月	比例、反比例	22	①関数関係の意味を理解すること。比例、反比例について理解すること。座標の意味を理解すること。比例、反比例を表、式、グラフなどに表すこと。	①関数関係の意味を理解している。比例、反比例について理解している。座標の意味を理解している。比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。	定期考査 小テスト 単元レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数と比例・反比例</li> <li>比例の性質と調べ方</li> <li>反比例の性質と調べ方</li> <li>比例と反比例の利用</li> </ul>	説明	理科の「地震」、「オームの法則」、「密度」とのつながり
			②比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすこと。比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。	②比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	定期考査 小テスト 単元レポート			
				③比例、反比例のよさに気付いて粘り強く考え、比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			
10、 11月	平面図形	17	①角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解すること。平行移動、対称移動及び回転移動について理解すること。	①角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。	定期考査 小テスト 単元レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の移動</li> <li>基本の作図</li> <li>おうぎ形</li> </ul>	説明	理科の「入射角、反射角」とのつながり
			②図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現すること。図形の移動に着目し、二つの図形の関係について考察し表現すること。基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用すること。	②図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し、表現することができる。図形の移動に着目し、二つの図形の関係について考察し、表現することができる。基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用することができる。	定期考査 小テスト 単元レポート			
				③平面図形の性質や関係を捉えることのよさに気付いて粘り強く考え、平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、作図や図形の移動を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			
12、 1月	空間図形	18	①空間における直線や平面の位置関係を知ること。扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めらるること。	①空間における直線や平面の位置関係を知っている。扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めらることができる。	定期考査 小テスト 単元レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな立体</li> <li>立体の見方と調べ方</li> <li>立体の体積と表面積</li> </ul>	説明	技術科の「第三角法による投影図」とのつながり
			②空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすることができる。立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。	②空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすることができる。立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。	定期考査 小テスト 単元レポート			
				③空間図形の性質や関係を捉えることのよさに気付いて粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			

2、3月	データの分布	6	①ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理すること。	①ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。	定期考査 小テスト 単元レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの整理と分析</li> <li>データの活用</li> </ul>	話合い、説明	技術科の「情報の技術」とのつながり
			②目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること。	②目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。	定期考査 小テスト 単元レポート			
			③ヒストグラムや相対度数などのよさに気付いて粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。	③ヒストグラムや相対度数などのよさに気付いて粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			
3月	不確定な事象の起こりやすさ	3	①多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解すること。	①多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。	定期考査 小テスト 単元レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>ことからの起こりやすさ</li> </ul>	説明	
			②多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現すること。	②多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。	定期考査 小テスト 単元レポート			
			③多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気付いて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。	③多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気付いて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			
調整時間		14						

合計 140